

測定機器 Smart Gene

検査対象:夜間休日で入院が必要な有症状患者

※機器使用が込み合っている等の理由で測定不能の場合は迅速キットを使用ください。結果が陰性でもCOVID-19が疑われる有症状患者の入院患者は感染制御部へ報告をお願いします。

オーダー: 鼻腔SARS-CoV-2 (PCR) 依頼、採取指示票を出力

試薬は第1種検査室

試薬使用簿記入

鼻腔 PPE:フェイスシールド、N95マスク、1重手袋、袖なしエプロン

検査(1時間) 抽出液は、結果がでるまで保管

検体採取: 救急外来5番 診察室 (フルPPE)

検査: 第1種検査室 (マスク、手袋)

手順は
別紙参照**陰 性**

* 結果が陰性でもCOVID-19が疑われる臨床症状の入院患者は感染制御部へ報告し感染対策の指示をうける(迅速キットも同様です)

陽 性
詳細からサイクルを確認し
結果に記入する**直ちに
感染制御部へ**

採取指示票に結果を貼り、時間内にまとめて細菌検査室に送付

時間内に細菌検査室で結果入力

- 試薬が新しくなりパッケージの外装のみ変り、41/45サイクル以上の陽性でも再検査不要となりました。
- **専用の綿棒**を使用してください
- 検体採取後は、**診察室内でN95マスク以外のPPEを脱いだ後**、第一種検査室へ移動して下さい
- 測定終了後は、エタワイパーで机を拭いてください

操作方法1

準備:1種検査室

- ① 採取指示票を測定中ファイルに挟む
- ② 試薬使用簿を記入する
- ③ 綿棒・抽出液・フィルター(青)・フタを**トレイ**に入れて診察室へ



検体採取:救急外来5番診察室(フルPPE)

1 抽出液を予め5回転倒混和



2 専用綿棒で鼻咽頭めぐり液採取



3 綿棒を5回程度回転させ、検体を抽出



綿棒は袋に入れて密封し、部屋内の感染性廃棄物用ゴミ箱へ

4 フィルター装着



5. 抽出液をトレイに置き**外側の手袋を交換**する
6. 検体容器の外側を**アルコール綿で清拭**する
7. 感染症病室廊下側のドアを開け(ドアノブに触れない)壁の検体立てに入れる
8. **診察室内でN95マスク以外のPPEを脱ぎ**、患者出入口のドアから出て、感染症病室側の廊下へ回る
9. 検体立てから検体を取り、第1種検査室(スタッフ室B)へ

感染症病室側廊下

検体立て



室内でN95以外のPPE脱衣



必ず手指衛生をして移動



スタッフ室B

第1種検査室

第1種検査室
(スタッフ室B)

操作方法2

第1種検査室: サージカルマスク等、手袋

9. 冷蔵庫から試薬を取り出す



電源は常にON
(緑点灯)

電源スイッチ



10 枠内にサインペンで氏名を記入



反応チューブの先に
触れない!

サインペンで氏名を記入
すると、結果用紙に印刷
されます。

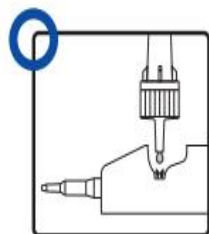
11 沈殿物が残らないように 十分混和する



12 試料4滴をテストカートリッジの試料滴下孔にゆっくり正確に滴下

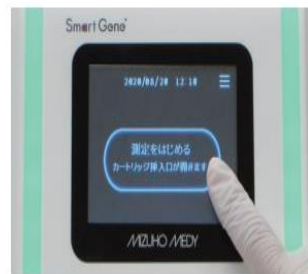
※液が吸い込んだことを確認して下さい。

試料の飛び跳ねや滴下孔以外への滴下は、感度の低下及びコンタミネーションの原因となりますので、
フィルター先端を試料滴下エリア内に入れ、液滴ができるようゆっくりと試料滴下孔に滴下して下さい。



13 「測定をはじめる」 をタッチ

LED
緑→青点灯



- ・1滴が少なくなった場合は1滴追加する。
- ・液が完全に吸収された後に機械のセットする!

14 テストカートリッジを挿入



※必ず奥まで挿入されたことを確認して下さい。



15 スタートをタッチ



※挿入口扉を手動で閉めないで下さい。

水色点灯

操作方法3

16 測定開始



①前処理が開始されます



②PCRが開始されます

機器の前に
採取指示票
を挟んだ
測定中の札
を立てる

抽出液を保管



手袋を捨て、手指衛生し退出する

17 測定結果

水色点滅



測定が終了するとブザー音が鳴り、判定結果が表示されます。

「印刷」を押し、2枚印字する

- ・電カル入力用→入力後は廃棄
- ・採取指示票貼り付け用

陽性の場合、必ず「**詳細**」を
押してサイクル数を確認し、
記録紙に記入する

「終了」を押し、カートリッジ
を取り出す

18

テストカートリッジを取り出し、
「測定終了」をタッチ

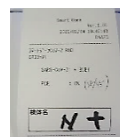


測定終了後の**カートリッジ**、
抽出液を赤い感染性廃棄
物用ごみ箱へ捨てる



採取指示票に測定結果
を貼り、時間内にまとめ
て細菌検査室へ送付

採取指示票



＜測定時の注意点＞

- ・ 専用の綿棒を使用してください
- ・ 開封後のテストカートリッジは直ちに使用してください
- ・ 機器の故障につながる場合がありますので、テストカートリッジにシール等を貼らないでください
- ・ 試料の滴下量が多い(+1滴までOK)、又は少ない場合(測定不能)は、正しい結果が得られない場合があります
- ・ 抽出液検体は感染性なく、フタをして室温で半日、冷蔵で3日保存可能

＜その他の注意点＞

- ・ 機器の電源は常にON(予定停電前は切る)
頻繁にON・OFFするのはよくない！
- ・ コンタミ防止のため、検体採取場所と検査場所は離れていること
- ・ 過去の結果は100回分の結果を記憶し、日付と時間で検索可能
- ・ 専用綿棒と抽出液(室温)、試薬カートリッジ(冷蔵)は、第1種検査室で保管
- ・ 試薬在庫チェック(検査部)
- ・ メンテナンス(検査部)

月1回陽性コントロール測定

年1回メンテナンス用カートリッジ測定

- ・ 測定後のカートリッジや抽出液は感染性がないが、コンタミ防止の為に感染性廃棄物用に廃棄する